

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-143525 (P2003-143525A)

【公開日】平成 15 年 5 月 16 日 (2003.5.16)

【出願番号】特願 2002-218527 (P2002-218527)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/85

G 1 1 B 19/28

G 1 1 B 20/10

G 1 1 B 21/08

【F I】

H 0 4 N 5/85 C

H 0 4 N 5/85 D

G 1 1 B 19/28 B

G 1 1 B 20/10 A

G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z

G 1 1 B 21/08 H

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 22 日 (2005.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像手段と、

マイクロフォンと、

装置外部より画像データと音声データとを入力する入力手段と、

移動機構により記録素子をディスク状記録媒体の半径方向に移動して、画像データと音声データとを前記ディスク状記録媒体に記録する記録手段と、

第 1 の制御プロファイルと、前記第 1 の制御プロファイルよりも高速に前記記録素子を移動するための第 2 の制御プロファイルのうちの一つを選択し、前記選択した制御プロファイルに基づいて前記移動機構を制御する制御手段と、

前記制御手段が前記第 1 の制御プロファイルに従って前記移動機構を制御し、前記撮像手段により得られた画像データと前記マイクロフォンにより得られた音声データとを前記記録手段により前記記録媒体に記録する第 1 の記録モードと、前記制御手段が前記第 2 の制御プロファイルに従って前記移動機構を制御し、前記入力手段により得られた画像データと音声データとを前記記録手段により前記記録媒体に記録する第 2 の記録モードを含む複数のモードの間でモードを設定するモード設定手段とを備える記録装置。

【請求項 2】

撮像手段と、

マイクロフォンと、

前記撮像手段により得られた画像データと前記マイクロフォンにより得られた音声データとを記憶するメモリと、

移動機構によりディスク状記録媒体の半径方向に移動される記録素子により、前記メモリに記憶された画像データと音声データとを読み出して前記ディスク状記録媒体に記録す

る記録手段と、

前記メモリに蓄積された前記画像データと音声データのデータ量に基づき、第1の制御プロファイルと、前記第1の制御プロファイルよりも高速に前記記録素子を移動するための第2の制御プロファイルのうちの一つを選択し、前記選択した制御プロファイルに基づいて前記移動機構を制御する制御手段とを備える記録装置。

【請求項3】

前記制御手段は前記メモリに蓄積された画像データと音声データのデータ量が所定量以下の場合には前記第1の制御プロファイルを選択し、前記所定量を越えている場合には前記第2の制御プロファイルを選択することを特徴とする請求項2記載の記録装置。

【請求項4】

前記ディスク状記録媒体から前記画像データと音声データを再生する再生手段を備え、前記制御手段は、前記再生手段により前記画像データと音声データを再生する再生モードにおいては前記第2の制御プロファイルを選択することを特徴とする請求項2記載の記録装置。

【請求項5】

撮像手段と、

マイクロフォンと、

前記撮像手段により得られた画像データと前記マイクロフォンにより得られた音声データとを記憶するメモリと、

ディスク状記録媒体の複数のゾーン毎に異なる回転速度で前記ディスク状記録媒体を回転させ、前記メモリに記憶された画像データと音声データとを読み出して前記ディスク状記録媒体に記録する記録手段と、

前記メモリに蓄積された前記画像データと音声データのデータ量に基づき、第1の制御プロファイルと、二つの前記ゾーン間での回転速度の切り替えに要する時間が前記第1の制御プロファイルよりも短い第2の制御プロファイルのうちの一つを選択し、前記選択した制御プロファイルに基づいて前記ディスク状記録媒体の回転動作を制御する制御手段とを備える記録装置。

【請求項6】

前記制御手段は前記メモリに蓄積された画像データと音声データのデータ量が所定量以下の場合には前記第1の制御プロファイルを選択し、前記所定量を越えている場合には前記第2の制御プロファイルを選択することを特徴とする請求項5記載の記録装置。

【請求項7】

前記ディスク状記録媒体から前記画像データと音声データを再生する再生手段を備え、前記制御手段は、前記再生手段により前記画像データと音声データを再生する再生モードにおいては前記第2の制御プロファイルを選択することを特徴とする請求項2記載の記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明の記録装置の第1の態様は、撮像手段と、マイクロフォンと、装置外部より画像データと音声データとを入力する入力手段と、移動機構により記録素子をディスク状記録媒体の半径方向に移動して、画像データと音声データとを前記ディスク状記録媒体に記録する記録手段と、第1の制御プロファイルと、前記第1の制御プロファイルよりも高速に前記記録素子を移動するための第2の制御プロファイルのうちの一つを選択し、前記選択した制御プロファイルに基づいて前記移動機構を制御する制御手段と、前記制御手段が前記第1の制御プロファイルに従って前記移動機構を制御し、前記撮像手段により得られた

画像データと前記マイクロフォンにより得られた音声データとを前記記録手段により前記記録媒体に記録する第１の記録モードと、前記制御手段が前記第２の制御プロファイルに従って前記移動機構を制御し、前記入力手段により得られた画像データと音声データとを前記記録手段により前記記録媒体に記録する第２の記録モードを含む複数のモードの間でモードを設定するモード設定手段とを備える。

本発明の記録装置の第２の態様は、撮像手段と、マイクロフォンと、前記撮像手段により得られた画像データと前記マイクロフォンにより得られた音声データとを記憶するメモリと、移動機構によりディスク状記録媒体の半径方向に移動される記録素子により、前記メモリに記憶された画像データと音声データとを読み出して前記ディスク状記録媒体に記録する記録手段と、前記メモリに蓄積された前記画像データと音声データのデータ量に基づき、第１の制御プロファイルと、前記第１の制御プロファイルよりも高速に前記記録素子を移動するための第２の制御プロファイルのうちの一つを選択し、前記選択した制御プロファイルに基づいて前記移動機構を制御する制御手段とを備える。

本発明の記録装置の第３の態様は、撮像手段と、マイクロフォンと、前記撮像手段により得られた画像データと前記マイクロフォンにより得られた音声データとを記憶するメモリと、ディスク状記録媒体の複数のゾーン毎に異なる回転速度で前記ディスク状記録媒体を回転させ、前記メモリに記憶された画像データと音声データとを読み出して前記ディスク状記録媒体に記録する記録手段と、前記メモリに蓄積された前記画像データと音声データのデータ量に基づき、第１の制御プロファイルと、二つの前記ゾーン間での回転速度の切り替えに要する時間が前記第１の制御プロファイルよりも短い第２の制御プロファイルのうちの一つを選択し、前記選択した制御プロファイルに基づいて前記ディスク状記録媒体の回転動作を制御する制御手段とを備える。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 3  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】

【手続補正 2 5】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 3 4  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】

【手続補正 2 6】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 3 5  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】

【手続補正 2 7】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 3 6  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】

【手続補正 2 8】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 3 7  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】